

## 地域女性活躍推進交付金実績報告書(市町村分)

市町村名:山口県下松市

1. 事業名	女性活躍支援事業								
2. 実施期間	令和2年4月1日 ~ 令和3年3月31日								
3. 事業の趣旨・目的	女性活躍推進の前提となる、長時間労働の是正などの仕事と家庭生活の両立ができる働き方に向けた取組について、事業者に啓発を図り、男女がともに希望どおりの多様な生き方や働き方を叶えられる、ゆとりのある豊かで活力ある持続的な地域社会づくりを目指す。 また、女性への家事育児等の負担が重くなっていることも女性の活躍を阻害する要因の一つと考えられることから、男性に対し家庭生活への参画促進の働きかけを行うとともに、女性が自ら意欲と能力を高め、活躍できるための取組を行う。								
4. 事業内容	新型コロナウイルス感染症の影響と感染拡大防止のため、開催方式を対面形式から、オンライン形式に変更するなどしたため、当初の計画とは実施時期を大幅に変更し、以下のオンラインセミナーを実施した。また、女性対象及び事業所対象セミナーには一般の参加者のほかに、市の職員も参加し、意識の向上と知識の習得、スキルアップを図った。 ・事業所対象に、働き方改革と女性の多様な働き方及び感染症拡大防止に有効なテレワークの導入と運用に関するセミナーを実施した。 ・女性対象に、時間効率化スキルを身につけるためのオンライン及びオンデマンドセミナーを行った。 ・就業中の女性及び就業希望の女性の活躍を推進するため、子育て世帯の男性をターゲットとした男性の家事・育児参画に関する講座を開催した。女性がパートナーを誘って参加する効果と、家庭内で意識を共有することによる男女共同参画意識の浸透を図るため男性及び夫婦での参加を可とした。 ・事業所における女性活躍を推進するため、事業所向けセミナーの案内チラシを送付する際に山口県の「やまぐち男女共同参画推進事業者」認証制度紹介チラシを同封して周知した。								
5. 事業効果及び効果検証の概要	目標数を上回る参加があり、セミナー後に行った録画の配信でも参加者数を大きく上回る視聴が行われ、広く普及啓発が図られた。オンラインセミナー参加者対象に実施したアンケートによれば、満足度は事業所対象セミナー100%、男性対象講座100%、女性対象セミナー91.6%と高く、それぞれ「テレワークの推進を实行したい」「夫婦間でお互いの思いを共有する場を作りたい」「仕事だけでなく、日常生活の中でも活用できる」など、理解を深め、気運の醸成が図られたと思われる。下松市女性活躍推進協議会で効果検証と課題の整理を行い、次年度事業の実施に生かしたい。								
6. 目標達成度及び達成状況に対する評価	セミナー参加者数は目標数計110名に対し、119名となり、目標以上の参加者を得た。また、セミナー終了後に、録画の動画配信をユーチューブの限定公開により行い、参加者及び関係者、市職員等に周知したところ、セミナー参加者数を大きく上回る視聴が行われ、実質的に目標を大きく超える受講者があった。習熟度についても、オンラインセミナー参加者対象に実施し、回収したアンケートによれば、事業者対象セミナーで92.3%、女性対象セミナーで100%、男性対象講座で100%となり、目標値を上回り、相応の普及啓発効果があったと評価できる。								
7. 今後の課題	事業所向けセミナーについては参加者数が目標値に達しなかった。広く啓発を図るため、魅力的なテーマ設定やニーズの把握、周知方法、実施方法について検討し、参加者の増加を目指す。新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえる必要があり、女性向けの就労意欲向上及び能力向上に資するセミナーについては、「新たな日常」において有効活用できるデジタル技術を含む、能力向上に関するものとし、女性の労働力率の上昇につなげる。男性の理解が必要という声が引き続き聞かれるため、子育て世帯が参加しやすい工夫をして、男性の家事・育児参画に関する事業を行い、継続的に啓発を行う費用がある。 オンライン、動画配信、対面方式等、それぞれの特性を生かして、実施方法も検討する必要がある。								
8. 事業の実施体制	下松市女性活躍推進協議会構成事業所や団体等(下松公共職業安定所、下松商工会議所、市内事業所、学識経験者、市民)と連携し課題と現状を共有、具体的な事業実施にあたって協議を行った。また、セミナーの周知に協力を仰ぐとともに、参加者の推薦を依頼した。								
9. 経費の内訳	(単位:円)								
事業番号	個別事業名	公募要領の取組例	予算措置年度	交付決定事業	総事業費(A=B+C+D)	本交付金(B)	他の寄付金等(C)	自己資金(D)	備考
1	女性活躍支援事業	2(1)	2年度当初予算	2年度予算	578,200	289,000	0	289,200	
					0				
					0				
					0				
	合計				578,200	289,000	0	289,200	
10. 担当者名及び連絡先	所属部署:下松市健康福祉部人権推進課男女共同参画室 氏名:高谷 裕子 電話番号:0833-45-1825 電子メールアドレス:jinken@city.kudamatsu.lg.jp								
11. 事業実施及び連携工程	様式4-2-1に記載								

注1)「9. 経費の内訳」の「事業番号」及び「個別事業名」は、様式4-2-2と整合性をもって記載してください。

注2)「9. 経費の内訳」の「公募要領の取組例」は、公募要領第2【取組例】(1)、(2)、(3)、(4)、(5)又は第4【取組例】(1)、(2)、(3)、(4)から選択してください。

注3)「9. 経費の内訳」の「予算措置年度」は、実施主体における予算措置状況について「元年度当初予算」、「元年度補正予算」、「2年度当初予算」のいずれかを記載してください。

注4)「9. 経費の内訳」の交付決定事業について、「元年度補正予算」、「2年度予算」のいずれかを記載してください。

注5)「9. 経費の内訳」において「他の寄付金等」がある場合は、備考欄に内容が分かるよう記載してください。

注6)本様式はA4で3枚以内としてください。また、適宜参考となる資料を添付してください。

## 地域女性活躍推進交付金実績報告書(市町村分) 個別事業

市町村名:山口県下松市

事業番号	1
1. 個別事業名	女性活躍支援事業
2. 実施期間	令和2年4月1日 ~ 令和3年3月31日
3. 総事業費	57,820円
4. 事業内容	<p>新型コロナウイルス感染症の影響と感染拡大防止のため、開催方式を対面形式から、オンライン形式に変更するなどしたため、当初の計画とは実施時期を大幅に変更し、以下のオンラインセミナーを実施した。また、女性対象及び事業所対象セミナーには一般の参加者のほかに、市の職員も参加し、意識の向上と知識の習得、スキルアップを図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事と家庭生活の両立ができる働き方を推進するため、事業所対象に働き方改革と女性の多様な働き方及び感染症拡大防止に有効なテレワークの導入と運用に関するセミナーを実施した。</li> <li>・女性対象に女性が自ら意欲と能力を高め、仕事と生活の調和を実現し、活躍できるよう、時間効率化スキルを身につけるためのオンライン及びオンデマンドセミナーを行った。</li> <li>・男性の家庭生活への参画促進を図ることにより、就業中の女性及び就業希望の女性の活躍を推進するため、子育て世帯の男性をターゲットとした男性の家事・育児参画に関する講座を開催した。女性がパートナーを誘って参加する効果と、家庭内で意識を共有することによる男女共同参画意識の浸透を図るため男性及び夫婦での参加を可とした。</li> <li>・事業所における女性活躍を推進するため、事業所向けセミナーの案内チラシを送付する際に山口県の「やまぐち男女共同参画推進事業者」認証制度紹介チラシを同封して周知した。</li> </ul> <p>・経済団体、関係団体など官民連携の考え方及び具体的な連携主体・連携方法</p> <p>下松市女性活躍推進協議会構成事業所や団体等(下松公共職業安定所、下松商工会議所、市内事業所、学識経験者、市民)と連携し課題と現状を共有、具体的な事業実施にあたって協議を行った。また、セミナーの周知に協力を仰ぐとともに、参加者の推薦を依頼した。</p> <p>・連携地方公共団体及び具体的な連携方法</p> <p>山口県や周辺市と連携し、周知について協力を仰ぐとともに、山口県及び周辺市を含む市町に動画配信を周知し成果報告を行うとともに、セミナーの内容を情報提供した。</p> <p>・交付金事業間連携、他施策との連携</p> <p>山口県と連携し、事業所における女性活躍を推進するため、事業所向けセミナーの案内チラシを送付する際に山口県の「やまぐち男女共同参画推進事業者」認証制度紹介チラシを同封して周知した。</p>
5. 事業効果及び効果検証の概要	<p>目標数を上回る参加があり、セミナー後に行った録画の配信でも参加者数を大きく上回る視聴が行われ、広く普及啓発が図られた。オンラインセミナー参加者対象に実施したアンケートによれば、満足度は事業所対象セミナー100%、男性対象講座100%、女性対象セミナー91.6%と高く、それぞれ「テレワークの推進を实行したい」「夫婦間でお互いの思いを共有する場を作りたい」「仕事だけでなく、日常生活の中でも活用できる」など、理解を深め、気運の醸成が図られたと思われる。下松市女性活躍推進協議会で効果検証と課題の整理を行い、次年度事業の実施に生かしたい。</p>
6. 目標達成度及び達成状況に対する評価	<p>セミナー参加者数は目標数計110名に対し、119名となり、目標以上の参加者を得た。また、セミナー終了後に、録画の動画配信をYouTubeの限定公開により行い、参加者及び関係者、市職員等に周知したところ、セミナー参加者数を大きく上回る視聴が行われ、実質的に目標を大きく超える受講者があった。習熟度についても、「新たな日常」において有効活用できるデジタル技術を含む、能力向上に関するものとし、女性対象セミナーで92.3%、女性対象セミナーで100%、男性対象講座で100%となり、目標値を上回り、相応の普及啓発効果があったと評価できる。</p>
7. 今後の課題	<p>事業所向けセミナーについては参加者数が目標値に達しなかった。広く啓発を図るため、魅力的なテーマ設定やニーズの把握、周知方法、実施方法について検討し、参加者の増加を目指す。新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえる必要があり、女性向けの就労意欲向上及び能力向上に資するセミナーについては、「新たな日常」において有効活用できるデジタル技術を含む、能力向上に関するものとし、女性の労働力率の上昇につなげる。男性の理解が必要という声が引き続き聞かれるため、子育て世帯が参加しやすい工夫をして、男性の家事・育児参画に関する事業を行い、継続的に啓発を行う費用がある。オンライン、動画配信、対面方式等、それぞれの特性を生かして、実施方法も検討する必要がある。</p>

注1)「3. 総事業費」の内容については、別途、単価、員数、日数等が分かる積算資料を添付してください。

注2) 本様式はA4で2枚以内としてください。また、適宜参考となる資料を添付してください。